

第6次草津市総合計画策定 に向けての意識調査結果

まとめ

市民意識調査

高校生アンケート調査

転入者アンケート調査

目 次

1. 調査の概要	1
2. 回答者について	2
3. 回答結果	5
(1) 草津市の現在の都市像（都市イメージ）あてはまるものを全て選択	5
(2) 草津市の将来の望ましい都市像（都市イメージ）1位から5位まで選択.....	6
(4) 今後の生活で心配に思うこと(市民のみの設問).....	9
(5) 転入者調査	10
3. まとめ	11

1. 調査の概要

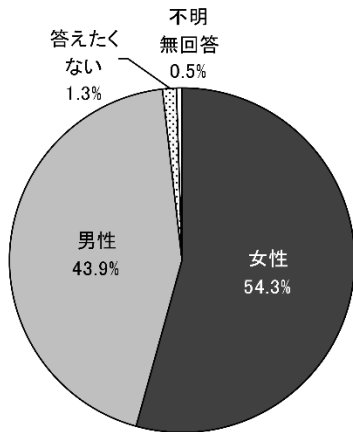
調査の目的	2021年度から2032年度までを計画期間とした「第6草津市総合計画」の策定に向けて、これからの草津市の将来の都市像やまちづくりへのアイデア、転入のきっかけや転入理由、市政に対する率直な御意見等をお聞かせ頂くことで、市民とこれからのまちづくりを担う若者の“声”を反映した総合計画を策定するため実施
調査の対象・方法	<p>【市民意識調査】 平成30年12月1日現在、草津市にお住まいの18歳以上の方3,000人を無作為で抽出、郵送配布・郵送回収による自記方式、またはPC・スマートフォン等によるインターネット回答 調査期間：平成30年12月27日（木）～平成31年2月19日（火）</p> <p>【高校生アンケート調査】 市内の高等学校に通学する高校2年生1,586人 調査方法：各学校の協力により実施、各校で取りまとめの上提出 調査期間：平成30年12月2日（木）～平成31年2月19日（火）</p> <p>【転入者アンケート調査】 市内への転入者671人 調査方法：窓口でアンケートを配布し、庁内に設置した回収箱で回収 調査期間：平成31年1月8日（火）～平成31年2月28日（木）</p>
調査票の回収状況	<p>【市民意識調査】 有効回答は合計で 1,153 件、回収率は 38.4%</p> <p>【高校生アンケート調査】 1,490 件（回収率 90.4%）※有効回答のみ</p> <p>【転入者アンケート調査】 181 件（回収率 27.0%）※ 有効回答のみ</p>
報告書の見方	<ul style="list-style-type: none"> ・回答結果は、各項目の不明を含む有効サンプル数に対する百分比(%)で示し、百分比は小数点第2位を四捨五入して小数点第1 位までを表示しています。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。 ・複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの比率を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。 ・図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が著しく困難なものです。 ・図表中の「n」は集計対象者総数または、回答者限定設問の限定条件の該当者数を示しています。

2. 回答者について

【市民意識調査】

(1) 性別

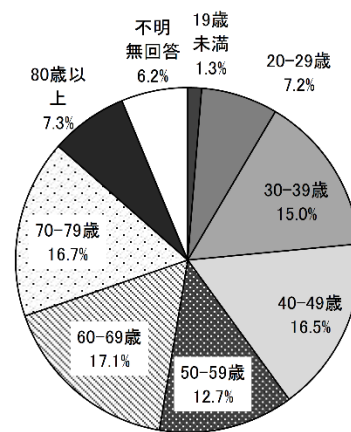
性別 (n=1,153)



「女性」が54.3%、「男性」が43.9%となっています。

(2) 年齢

年齢 (n=1,153)

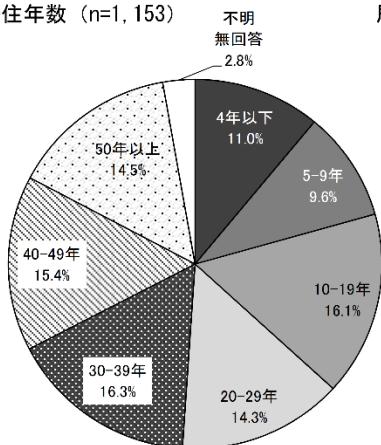


最も多いのは「60-69歳」で17.1%、次いで「70-79歳」が16.7%、「40-49歳」が16.5%となっています。

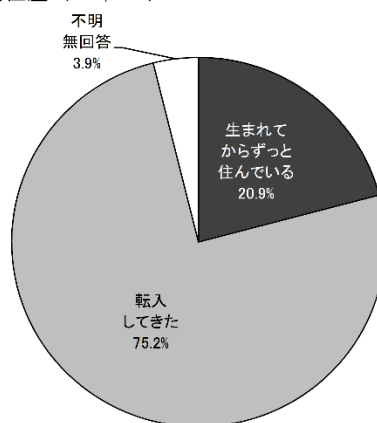
回答者全体での平均年齢は54.4歳となっています（不明・無回答除く）。

(3) 居住歴・居住年数

居住年数 (n=1,153)



居住歴 (n=1,153)

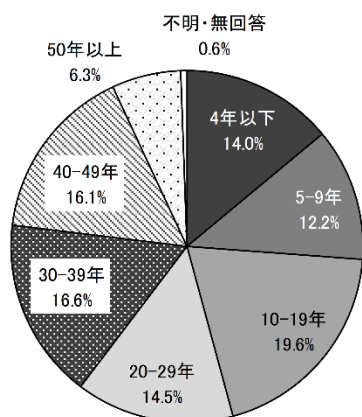


居住年数を見ると、最も多いのは「30-39年」で16.3%、次いで「10-19年」が16.1%、「40-49年」が15.4%となっています。

居住歴を見ると、「生まれてからずっと住んでいる」が20.9%、「転入してきた」が75.2%となっています。

(4) 居住歴・居住年数

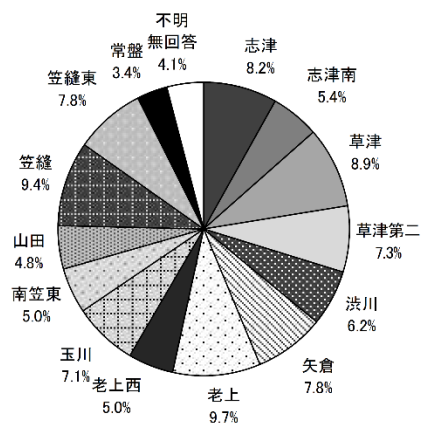
転入者の居住年数 (n=867)



「転入してきた」と回答した人の居住年数を見ると、最も多いのは「10-19年」で19.6%、次いで「30-39年」が16.6%、「40-49年」が16.1%となっています。

(5) 居住地区

居住地区 (n=1,153)

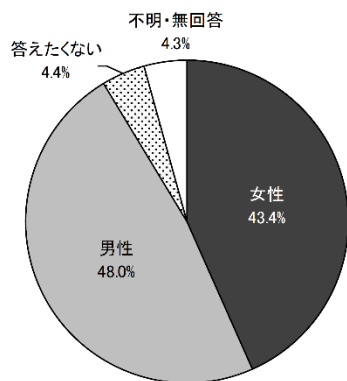


最も多いのは「老上小学校区」で9.7%、次いで「笠縫小学校区」が9.4%、「草津小学校区」が8.9%となっています。

【高校生アンケート調査】

(1) 性別

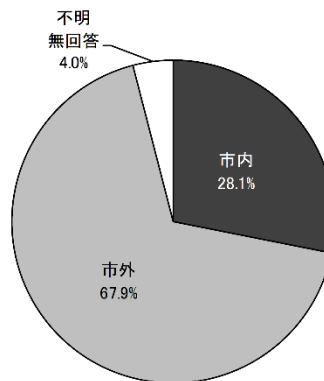
性別 (n=1,490)



「女性」が43.4%、「男性」が48.0%となっています。

(2) 居住地

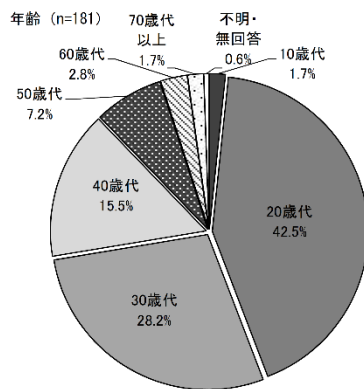
居住地 (n=1,490)



「市内」が28.1%、「市外」が67.9%となっています。

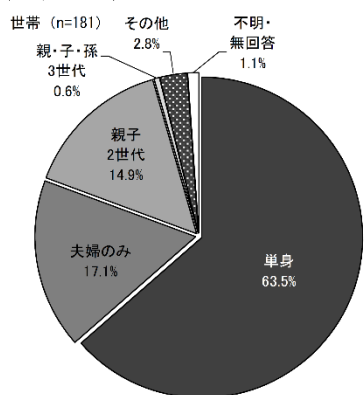
【転入者アンケート調査】

(1) 年齢



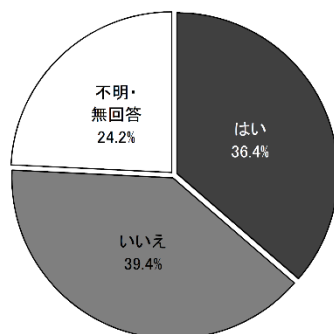
「20歳代」が42.5%、「30歳代」が28.2%、「40歳代」が15.5%などとなっています。

(2) 世帯



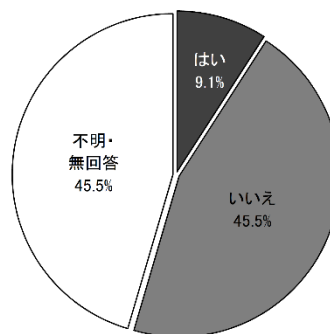
「単身」が63.5%、「夫婦のみ」が17.1%、「親子2世代」が14.9%などとなっています。

18歳未満の子どもの有無 (n=33)



「親子2世代」「親・子・孫3世代」「その他」について、18歳未満の子どもの有無は「はい」が36.4%、「いいえ」が39.4%となっています。

65歳以上の人の有無 (n=33)



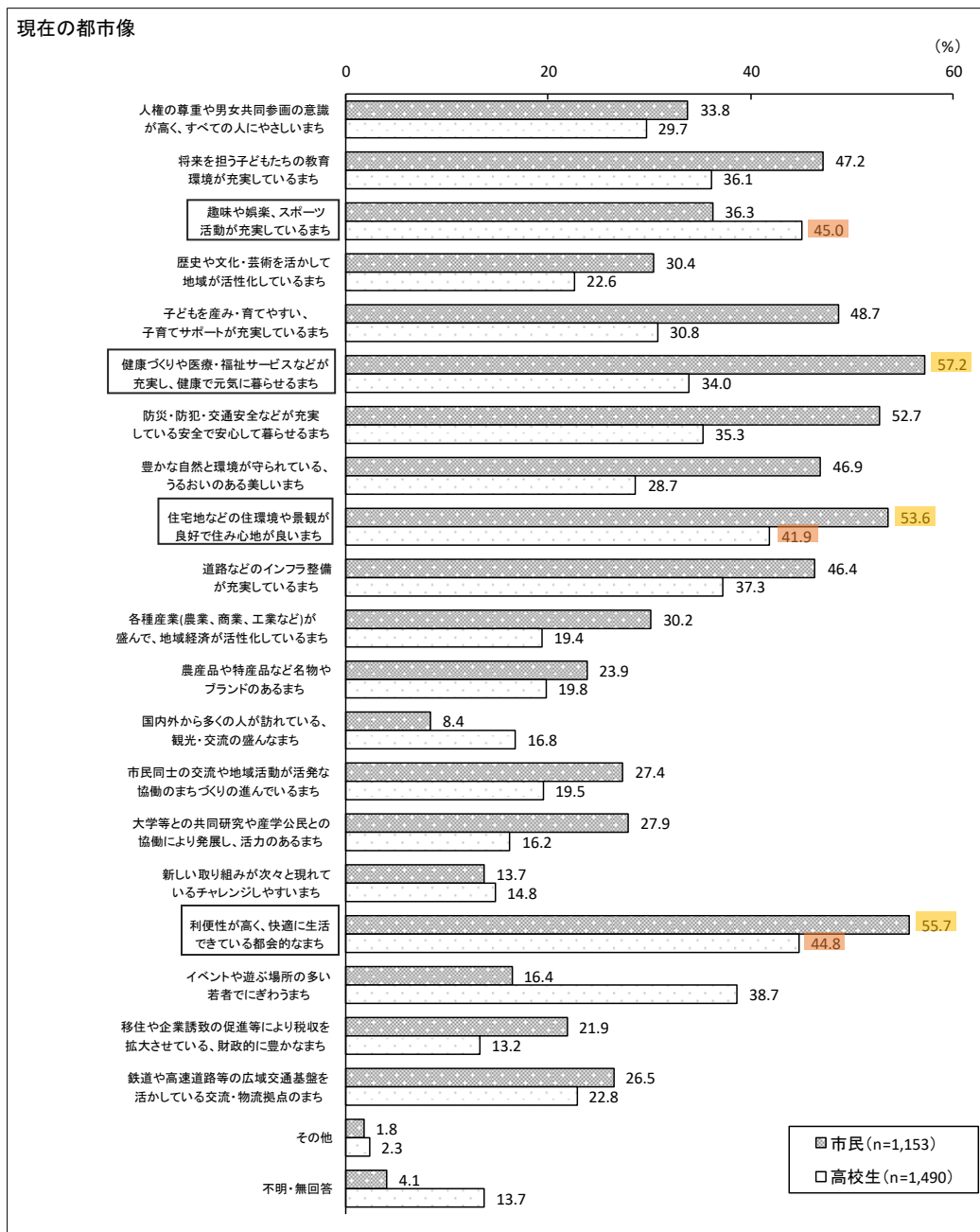
「親子2世代」「親・子・孫3世代」「その他」について、65歳以上の人の有無は「はい」が9.1%、「いいえ」が45.5%となっています。

3. 回答結果

(1) 草津市の現在の都市像（都市イメージ）あてはまるものを全て選択

市民では、あてはまるという回答が最も多いのは「健康づくりや医療・福祉サービスなどが充実し、健康で元気に暮らせるまち」で57.2%、次いで「利便性が高く、快適に生活できている都会的なまち」が55.7%、「住宅地などの住環境や景観が良好で住み心地が良いまち」が53.6%となっています。

高校生では、あてはまるという回答が最も多いのは「趣味や娯楽、スポーツ活動が充実しているまち」で45.0%、次いで「利便性が高く、快適に生活できている都会的なまち」が44.8%、「住宅地などの住環境や景観が良好で住み心地が良いまち」が41.9%となっています。

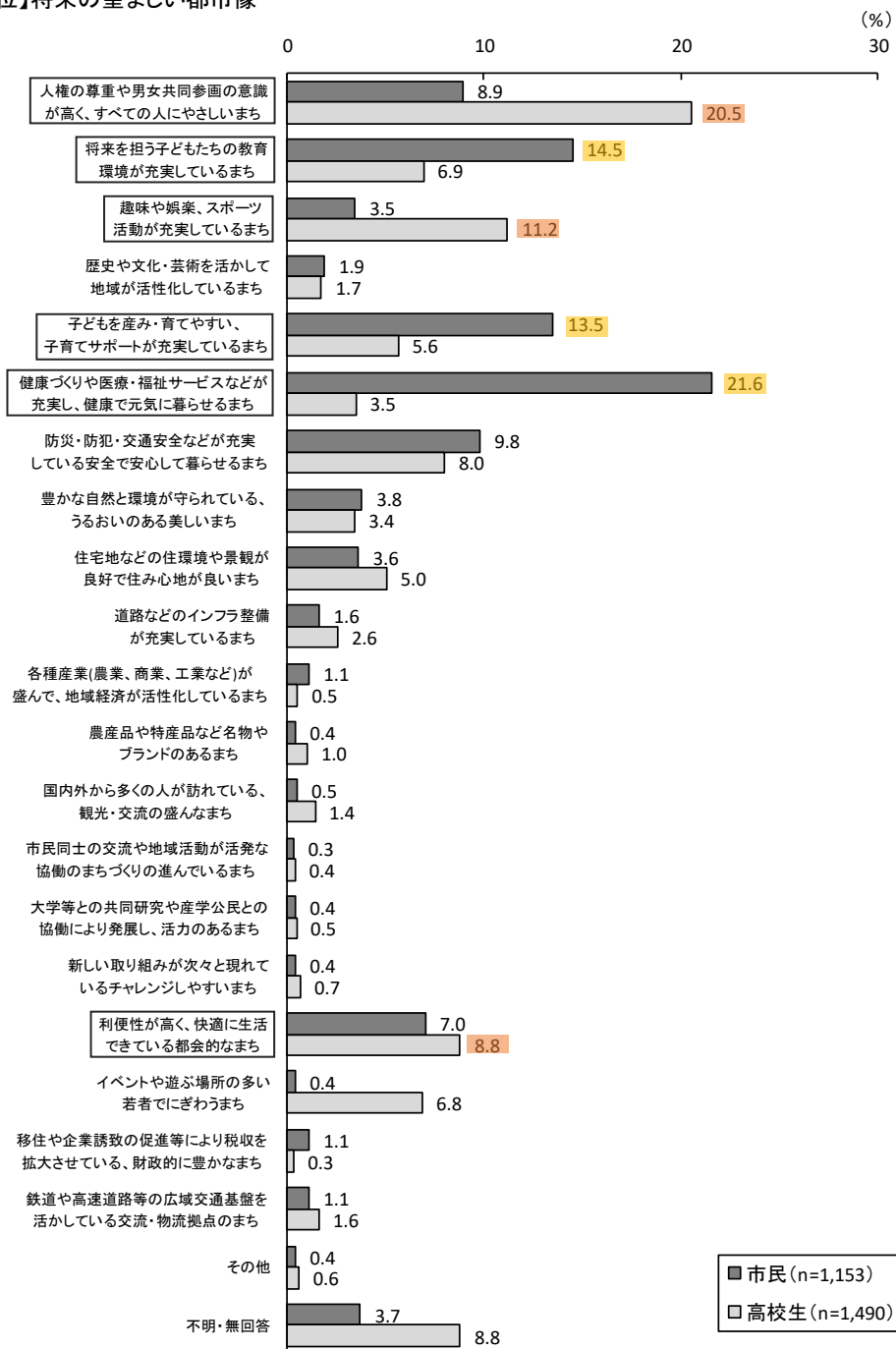


(2) 草津市の将来の望ましい都市像（都市イメージ）1位から5位まで選択

市民では、「1位」に最も多く挙げられたのは「健康づくりや医療・福祉サービスなどが充実し、健康で元気に暮らせるまち」で21.6%、次いで「将来を担う子どもたちの教育環境が充実しているまち」が14.5%、「子どもを産み・育てやすい、子育てサポートが充実しているまち」が13.5%となっています。

高校生では、「1位」に最も多く挙げられたのは「人権の尊重や男女共同参画の意識が高く、すべての人にやさしいまち」で20.5%、次いで「趣味や娯楽、スポーツ活動が充実しているまち」が11.2%、「利便性が高く、快適に生活できている都会的なまち」が8.8%となっています。

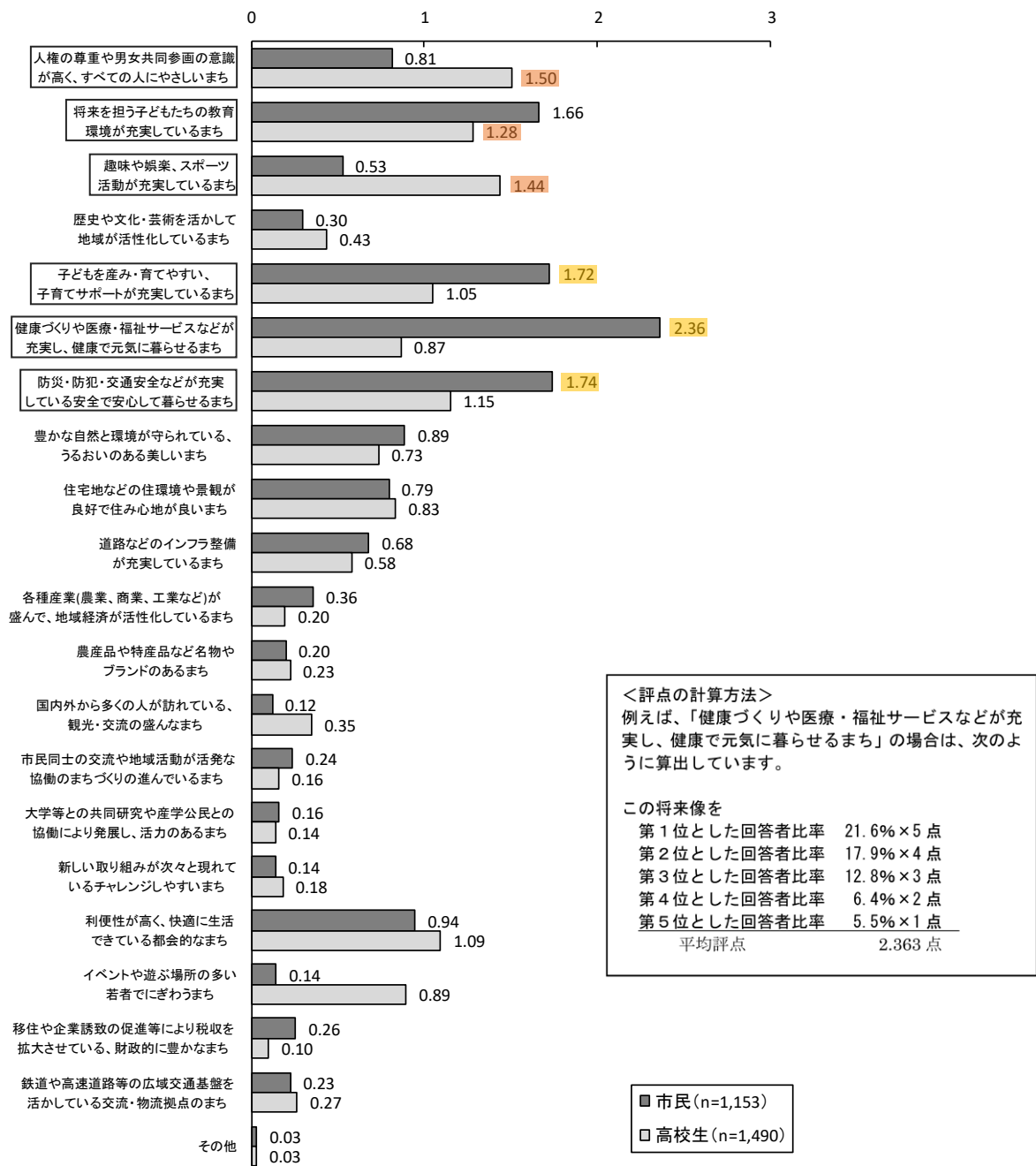
【1位】将来の望ましい都市像



また、回答者が1位から5位に挙げた各選択肢をもとに点数化（1位：5点、2位：4点、3位：3点、4位：2点、5位：1点）することで、平均評点を算出したところ、**市民**では、平均評点が最も高かったのは、「健康づくりや医療・福祉サービスなどが充実し、健康で元気に暮らせるまち」で2.363点、次いで「防災・防犯・交通安全などが充実している安全で安心して暮らせるまち」が1.740点、「子どもを産み・育てやすい、子育てサポートが充実しているまち」が1.724点となっています。

高校生では、平均評点が最も高かったのは、「人権の尊重や男女共同参画の意識が高く、すべての人にやさしいまち」で1.505点、次いで「趣味や娯楽、スポーツ活動が充実しているまち」が1.438点、「将来を担う子どもたちの教育環境が充実しているまち」が1.279点となっています。

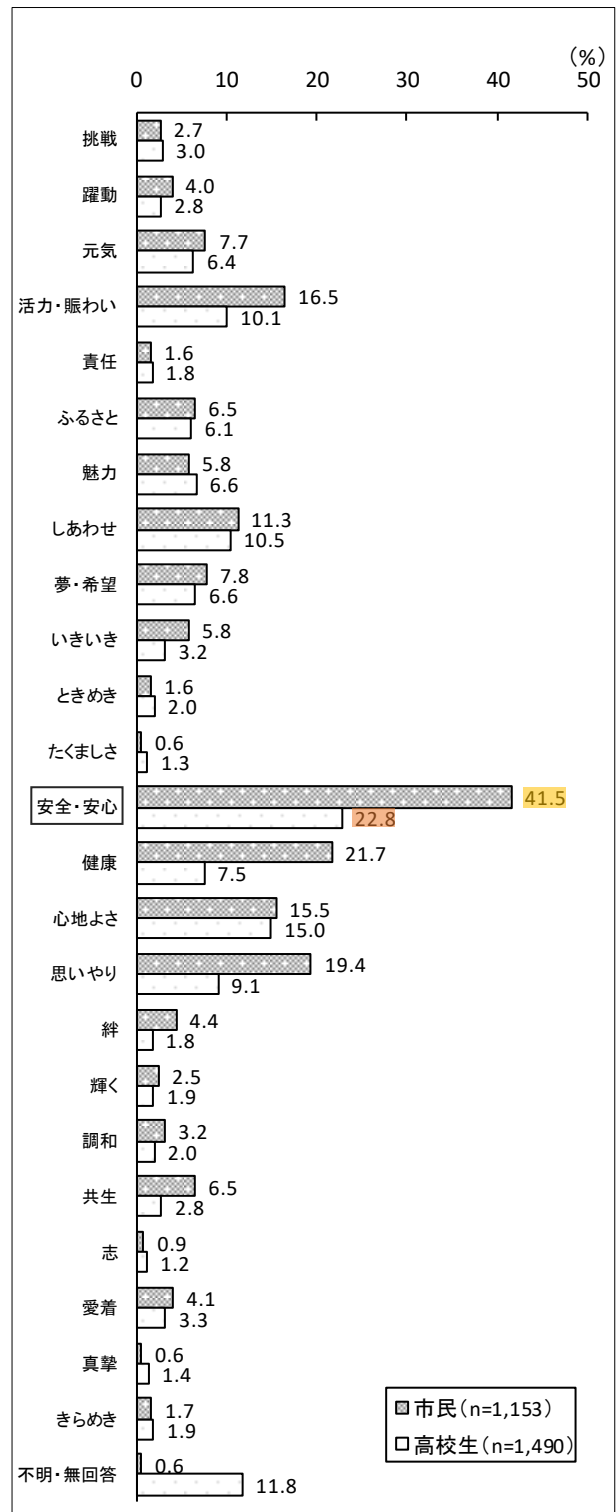
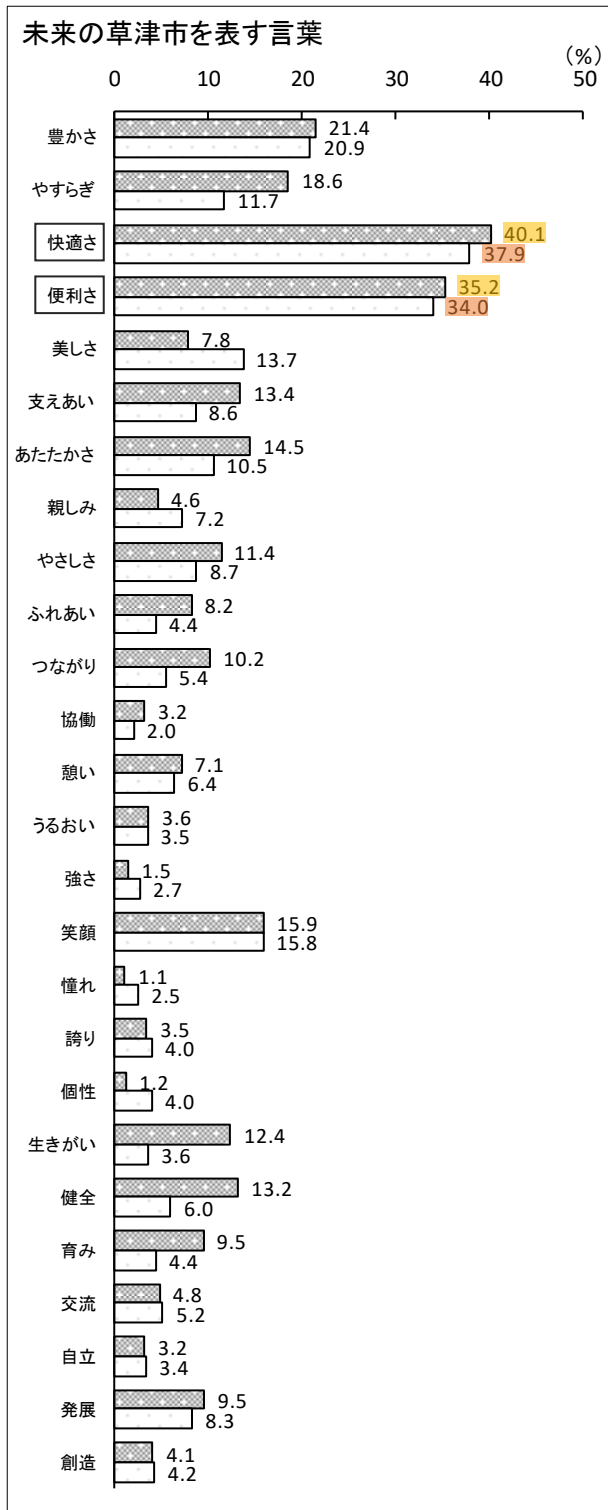
【評点】将来の望ましい都市像



(3) 未来の草津市を表す言葉（キーワードやキャッチフレーズ）について

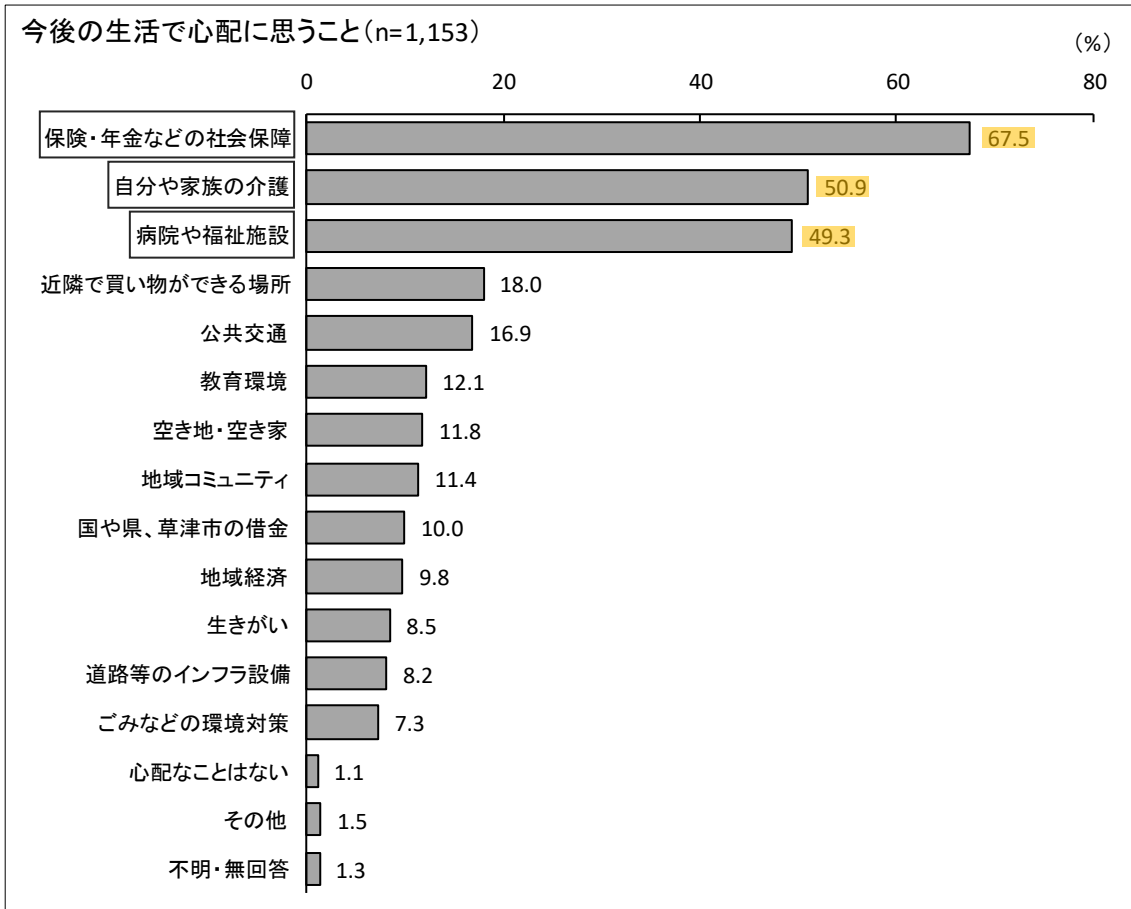
市民では、未来の草津市を表す言葉（キーワードやキャッチフレーズ）としてふさわしいものを、50個の選択肢の中から5つまで選択してもらった結果ふさわしいという回答が最も多いのは「安全・安心」で41.5%、次いで「快適さ」が40.1%、「便利さ」が35.2%となっています。

高校生では、ふさわしいという回答が最も多いのは「快適さ」で37.9%、次いで「便利さ」が34.0%、「安全・安心」が22.8%となっています。



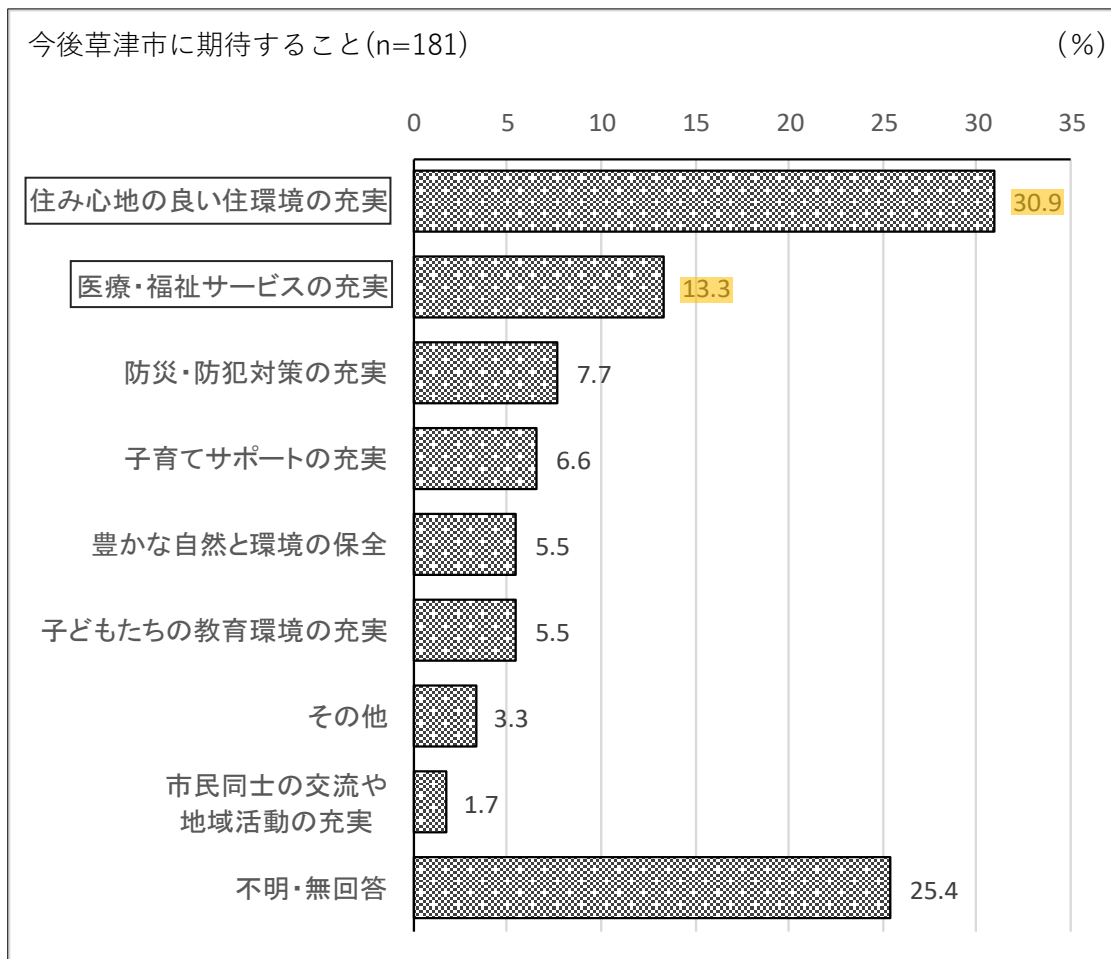
(4) 今後の生活で心配に思うこと(市民のみの設問)

最も多いのは「保険・年金などの社会保障」で67.5%、次いで「自分や家族の介護」が50.9%、「病院や福祉施設」が49.3%となっています。



(5) 転入者調査

- 今回の調査では、転入者は「20歳代」「単身」が多く、そのことから、転入したきっかけも「仕事の都合上」が多くなっています。
- 草津市への転入の決め手は「通勤・通学時間」が約6割と最も多くなっています。次いで、「住宅価格、家賃、広さ」「買い物等生活の利便性」「交通の利便性」が約3割などとなっています。
- 今後草津市に期待することは「住み心地の良い住環境の充実」が約3割、「医療・福祉サービスの充実」が約1割などとなっています。



3. まとめ

【市民意識調査・高校生アンケート調査】

現在の都市像	日々の暮らしの快適さや、健康・福祉、安全・安心が強く実感されている
将来の望ましい都市像	現在の都市像の維持・強化が求められる傾向にあり、特に、健康・福祉、子育て、防災などの分野でその傾向が強い
未来の草津市を表す言葉	「安全・安心」「快適さ」「便利さ」が選ばれている
今後の生活での心配 (市民意識調査のみ)	「保険・年金などの社会保障」、「自分や家族の介護」、「病院や福祉施設」など福祉分野の心配が多い

【転入者アンケート調査】

転入のきっかけ	「20歳代」「単身」の転入者が多いことから、「仕事の都合上」が多い。
転入の決め手	「通勤・通学時間」が最も多く、次いで、「住宅価格、家賃、広さ」「買い物等生活の利便性」「交通の利便性」となっている。
草津市に期待すること	「住環境の充実」「医療・福祉サービスの充実」が期待されている